

2023 年 4 月高等教育自学考试

日本文学选读试题

课程代码:00612

1. 请考生按规定用笔将所有试题的答案涂、写在答题纸上。
2. 答题前,考生务必将自己的考试课程名称、姓名、准考证号用黑色字迹的签字笔或钢笔填写在答题纸规定的位置上。

选择题部分

注意事项:

每小题选出答案后,用 2B 铅笔把答题纸上对应题目的答案标号涂黑。如需改动,用橡皮擦干净后,再选涂其他答案标号。不能答在试题卷上。

一、阅读下面的文章,请将最合适的选出。(本大题共 10 小题,每小题 2 分,共 20 分)

文章 I

夏は(ア)。月のころはさらなり、闇もなほ、蛍の多く飛びちがひたる。また、ただ一つ二つなど、ほのかにうち光りて行くもをかし。雨など降るもをかし。

1. 上の文はある作品からの抄録である。この作品のタイトルは()である。
A 『徒然草』 B 『大鏡』 C 『枕草子』 D 『太平記』
2. この作品の作者は()である。
A 鴨長明 B 清少納言 C 和泉式部 D 小野小町
3. この作品の美意識は()である。
A あはれ B をかし C たけ高し D とほ白し
4. (ア)に入る最もよいものは次のどれか。
A 朝 B 昼 C 午後 D 夜

文章 II

どこで生まれたか頼と見當がつかぬ。何でも薄暗いじめじめした所でニャーニャー泣いて居た事丈は記憶して居る。吾輩はここで始めて人間といふものを見た。然もあとで聞くとそれは書生といふ人間中で一番獰悪な種族であつたさうだ。此書生といふのは時々我々を捕まへて煮て食ふといふ話である。

5. 上の文章はある作品からの抄録である。この作品のタイトルは()である。
A 『坊ちゃん』 B 『こころ』 C 『三四郎』 D 『吾輩は猫である』
6. この作品の作者は()である。
A 森鷗外 B 夏目漱石 C 谷崎潤一郎 D 志賀直哉

7. 「見當がつかぬ」とは何の意味か。次の選択肢から選びなさい。
- A その物事が記憶に残っていないさま
B この先どうなるかが分からないさま
C 物事を推し量ることが困難であるさま
D はっきりと見えないさま
8. 「じめじめ」とは何の意味か。次の選択肢から選びなさい。
- A 湿気が多く不快なさま
B 雑物が多いさま
C においがするさま
D 汚いさま
9. 「書生」と意味が最も近い言葉を次の選択肢から選びなさい。
- A 学生
B 門下生
C 学者
D 知識人
10. 次の選択肢から正しくないのを一つ選びなさい。
- A この作品は作者の出世作である
B この作品は猫の目を通して人間の生活態度や思考方法を風刺した
C この作品は短編小説である
D この作品は全体にあふれるユーモアが魅力的である

非选择题部分

注意事项:

用黑色字迹的签字笔或钢笔将答案写在答题纸上,不能答在试题卷上。

二、请写出下划线上的日语汉字的假名读音。(本大题共 10 小题, 每小题 1 分, 共 10 分)

11. 一人は文三の同僚で世間的要領を身に付け、如才なく上役にとりいって逆に昇進さえした本田昇である。()
12. 信如は仏門に入る修行のため、町を去ることになった。()
13. 本国の母の死やエリスの妊娠が重なり窮地に陥った。()
14. さすが信州第一の仏教の地である。()
15. 吾輩はここで始めて人間といふものを見た。()
16. 一人の下人が、羅生門の下で雨やみを待っていた。()
17. 直子との結婚で平穏な生活が訪れる。()
18. 私は自分の性質が孤児根性で歪んでいると厳しい反省を重ね、その息苦しい憂鬱に堪えきれないで伊豆の旅に出る。()
19. 私は一つの期待に胸をときめかして道を急いでいるのだった。()
20. 李徴の自尊心をいかに傷つけたかは、想像に難くない。()

三、请写出下划线上的日语假名的日文汉字。(本大题共 10 小题, 每小题 1 分, 共 10 分)

21. やくしょの退庁時刻に、二人の青年が神田見附から姿を現した。()
22. 落成式をあすに控えた夜、もうれつな嵐が江戸を襲う。()
23. 秀才の青年官吏は某省からベルリン留学をはけんされた。()
24. 私はしょうじきな道を歩くつもりで、つい足を滑らしたばかり者でした。()

25. 鼠の生に対するしゅうちゃくを「それは仕方のないことだ」と肯定する。()
26. 朝は晴れ、木の葉もじめんも屋根もきれいに洗われていた。()
27. 旧記によると、仏像や仏具を打ち砕いて、その丹が付いたり、金銀の箔が付いたりした木を、みちばたに積み重ねて、薪の料に売っていたということである。()
28. 世間からは見下げられている旅芸人と道連れになり、彼らのすなおな人間味にひかれ、心洗われる気持ちを抱く。()
29. 付近の山野をそうさくしても、なんの手掛かりもない。()
30. 親和感情に包まれつつ、二人は自分たちがききを乗り越えたことを実感する。()

四、填空。(本大題共 20 小題，每小題 2 分，共 40 分)

31. 儀式の際に用いた詞章を「祝詞」というが、天皇が国家の大事件に当たって臣下に発した勅命は()という。
32. 『日本書紀』は()世紀に成立した。
33. 説話文学を収めて集大成し、質、量ともに説話史上最高の位置を占めている作品は『()』である。
34. 『古今和歌集』の選者は紀友則・()・凡河内躬恒・壬生忠岑の 4 人である。
35. 日本国文学の最高峰『源氏物語』の作者は()である。
36. 少女時代から晩年に仏教的境地に達するまでの女の一生を描いた日記は『()』である。
37. 平清盛を首領とする平家一門の全盛と滅亡を主調にした、中世最高の軍記物語とは『()』である。
38. 隠者の文学を代表する『方丈記』が表現する思想は()である。
39. 松尾芭蕉の奥羽北陸への紀行文で、句境が一段と深化したと言われる作品は『()』である。
40. 主に男女の愛情を描き、為永春水の『春色梅児誉美』などがその代表作と言われるジャンルは()である。
41. ()によって書かれた『雨月物語』は読本という近世小説の一ジャンルに属する作品である。
42. 自然主義の流れに対し、反自然主義の立場をとり、余裕派とも呼ばれたのは()と森鷗外の二人である。
43. 菊池寛は芥川賞と()賞の二つを創設した。
44. 『斜陽』『走れメロス』『人間失格』などの作品を次々に発表した作家は()である。
45. 『文学界』の同人で、恋愛の神聖さ・個人の自我発揚を説いたが、若くして自死した人は()である。
46. 人道主義・理想主義を標榜し、学習院出身の武者小路実篤・志賀直哉・有島武郎らが拠った雑誌は『()』である。
47. 短歌、俳句の世界は、明治 20 年代に至って近代化の動きが見られるようになる。そこでの革新者の筆頭は()と言えよう。

48. 第二次世界大戦後、すぐに文壇に登場した作家たちを第一のグループ、次に登場したのを第二のグループとすれば、昭和 27・8 年ごろに登場した作家たちは第三にあたる。これらの作家を（ ）と呼称している。

49. 『ノルウェイの森』を書いて、喪失感を描きながらも温かみを失わない抒情的作風で多くの支持者を得ている作家は（ ）である。

50. 戦後の終焉の象徴として、石原慎太郎の『太陽の季節』、（ ）の『死者の奢り』などがある。

五、请用日语对下列名词进行解释。（本大题共 2 小题，每小题 5 分，共 10 分）

- ① 隠者文学
- ② 写実主義

六、请将下面的文章翻译成现代日语。（本大题共 1 小题，10 分）

月日は百代の過客にして、行きかふ年も又旅人なり。舟の上に生涯をうかべ、馬の口とらへて老いをむかふる者は、日々旅にして、旅をすみかとする。